

# 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月23日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ベクター  
 コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

(氏名) 梶並 伸博  
 (氏名) 梶並 京子  
 配当支払開始予定日

TEL 03-5337-6711  
 未定

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,883	14.8	163	1,928.7	171	797.2	151	—
21年3月期第2四半期	1,640	6.5	8	△44.5	19	19.2	△16	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	2,213.34	—
21年3月期第2四半期	△248.09	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	3,094	2,608	84.3	38,148.25
21年3月期	3,069	2,429	77.0	34,552.96

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,608百万円 21年3月期 2,362百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

22年3月期期末(年間)配当は未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

通期の業績予想を行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 1社 (社名 ) 除外 1社 (社名 バリューモア株式会社 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	69,012株	21年3月期	69,012株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	636株	21年3月期	636株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	68,376株	21年3月期第2四半期	68,376株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、インターネット関連の新規性の強い事業を展開しており、公表するにたる業績予想が立てにくいため、業績予想は開示しておりませんが、22年3月期の決算発表時に、23年3月期の業績予想を開示し、24年3月期以降も業績予想を継続して開示いたします。したがって、配当額についても23年3月期以降、期末(年間)の1株当たり配当金予想について開示を行います。

## ・定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日、以下当期という。）のわが国経済は、政府が景気底打ち宣言を行なうなど、前連結会計年度の後半にかけて襲った未曾有の景気後退からようやく脱け出しましたが、雇用情勢の悪化、為替動向の不透明などから先行き二番底リスクを抱えたまま推移いたしました。こうした状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益については、1,883,094千円と前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日、以下前年同期という。）に比べ14.8%増となりました。一方、利益状況につきましては、営業利益は163,901千円と前年同期に比べ1,928.7%増と約20倍の伸びとなりました。経常利益は営業外収益7,210千円の寄与により、171,112千円と前年同期に比べは797.2%増と約9倍の伸びとなりました。これにより税金等調整前四半期純利益は171,329千円と前年同期に比べて1,285.4%増と約14倍の伸びとなりました。

この結果、法人税等を差し引いた四半期純利益は、151,339千円（前年同期は純損失16,963千円）となりました。

次に、当第2四半期連結累計期間の事業のセグメント別販売実績についてみてみますと、主業のインターネット販売事業の販売金額は1,085,787千円と前年同期比6.5%減となりました。インターネット販売事業は景況に左右される個人消費に関連する事業であり、ソフトダウンロード販売分野ではネットブックなどモバイル型パソコンの台頭などパソコン需要に大きな変化が起こっておりますが、ソフトウェアへの関心度合いの低下に「Windows7」発売前の買い控えの動きが加わり、プロレジ・サービスの販売金額が574,361千円と前年同期比20.6%減、シェアレジ・サービスの販売金額も13,015千円と前年同期比18.3%減となりました。反面、ソフトパッケージ・ハードウェア販売については、パソコン周辺機器、パッケージソフト、家電を主力商品としており、ヤフー、楽天、Amazonなど有力ショッピングモールサイトへの出店効果で販売金額は498,410千円と前年同期比18.2%の増加をみせました。ただ、当該ネット通販分野は価格競争のあおりを受け、低粗利益商品の占める割合が高く、売上高の80%を占めるショッピングモールサイトへ支払う出店手数料の負担も加わり、改善傾向にはあるものの低採算を余儀なくされております。

（注） ソフトダウンロード販売の営業収益の計上方法は、シェアレジ・サービス（主として個人作者が制作したソフトを提供するもの）は利用者及び作者からの手数料（利用者からは利用毎に一定金額の手数を徴収し、作者からはソフトの本体販売価格に一定料率を乗じた金額を手数料として徴収しております。）のみを計上しているのに対し、プロレジ・サービス（ソフトハウスなど法人作者の制作したソフトを利用者の発注に応じて仕入・販売するもの）は本体販売価格を売上高として計上しております。

一方、当社グループが経営の第2の柱として力を入れているオンラインゲーム事業については当期の販売金額は、634,194千円と前年同期比102.9%増と倍増しました。これは、従来型オンラインゲーム（クライアントソフトをダウンロードするもの）に加え、当期から専門ポータルサイト「ブラゲタイム」を立ち上げたブラウザゲーム（ブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム）の運営を開始したことが寄与しております。オンラインゲーム事業のうち従来型オンラインゲームでは本年4月より正式サービスを開始した「三国ヒーローズ」をはじめ7タイトルが、ブラウザゲームでは「ドラゴンクルセイド」など2タイトルがそれぞれ好調な売行きをみせたことがその要因であります。また、本年8月からサービスを開始した携帯電話でアプリなしで遊べる新モバイルゲームが好調な滑出しをみせました。この結果、オンラインゲーム事業全体の営業収益に占める割合は、前年同期の19.1%から当期は33.7%にまで高まり、利益面でも、販売金額の急増により、固定費の負担増を吸収し、当該部門の黒字転化を達成いたし

ました。

そのほか、サイト広告販売事業の売上高は、景況不振の影響を受け、97,685千円と前年同期比14.7%減となりました。なお、当社の運営するサイト上で展開するWeb広告、なかでもキーワード広告については当該部門の3分の1を占め、1年前までは堅調な推移をみせておりましたが、以後急速に減少をみせ、前年同期比32.2%減となり、キーワード広告の当該事業の売上高に占める割合は27.3%(前年同期は34.1%)となりました。

また、その他の事業の売上高については、65,426千円と前年同期比24.1%の増加をみせましたが、当該その他の事業の売上高の78%を占めているソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務の売上高が前年同期比49.6%増となったことが寄与しました。

当第2四半期連結累計期間の事業のセグメント別販売実績

(単位：千円、%)

	22年3月期第2四半期		21年3月期第2四半期		対前年同四 半期増減率	前連結会計年度 (21年3月期)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
インターネット販売事業	1,085,787	57.7	1,160,894	70.8	△6.5	2,472,295	72.1
うちプロレジ・サービス事業	574,361	30.5	723,425	44.1	△20.6	1,482,753	43.3
うちシェアレジ・サービス事業	13,015	0.7	15,938	0.8	△18.3	31,551	0.9
うちソフトパッケージ・ ハードウェア販売事業	498,410	26.5	421,529	25.7	18.2	957,990	27.9
オンラインゲーム事業	634,194	33.7	312,565	19.1	102.9	621,845	18.1
サイト広告販売事業	97,685	5.2	114,566	6.9	△14.7	218,622	6.4
その他の事業	65,426	3.5	52,732	3.2	24.1	114,849	3.4
合計	1,883,094	100.0	1,640,758	100.0	14.8	3,427,613	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 財政状況の変動状況

当第2四半期連結累計期間末(平成21年9月30日)における資産合計は3,094,131千円となり、前連結会計年度末に比べて25,131千円増加しました。流動資産については有価証券が社債の取得などに伴って前連結会計年度末に比べて149,439千円増加しましたが、現金及び預金が前連結会計年度末に比べて115,657千円減少したことなどにより、2,511,726千円と前連結会計年度末に比べて14,169千円減少しました。固定資産についてはソフトウェアの取得などで582,405千円と前連結会計年度末に比べて39,301千円増加しました。

また、負債につきましては、負債合計が買掛金の減少などで485,706千円と前連結会計年度末に比べて153,333千円減少しました。

なお、純資産につきまして、株主資本は2,557,377千円と前連結会計年度末に比べて四半期純利益計上額相当額の151,339千円増加しました。

また、負債合計の負債純資産合計に占める割合が前連結会計年度末の20.8%から15.7%に大幅に低下し、自己資本比率は前連結会計年度末の77.0%から84.3%に7.3%と大幅上昇となりました。

### (2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間において現金及び現金同等物は、期末残高が1,821,565千円と期首残高の1,987,783千円に比べ166,217千円減少しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間は小計段階で税金等調整前四半期純利益171,329千円の計上などで169,138千円の収入となり、法人税等の還付金も加わり、188,576千円の収入となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出999,749千円、有価証券の売却による収入799,749千円で差し引き200,000千円の有価証券の取得による支出に加えて無形固定資産の取得による支出75,740千円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出93,030千円などがあり、354,782千円の支出となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支(フリーキャッシュ・フロー)は、166,205千円の赤字(支出超過)となり、キャッシュ残高減少の主たる要因となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金支払により11千円の支出となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、インターネット関連の新規性の強い事業を展開しており、公表するにたる業績予想が立てにくいいため、業績予想は開示しておりませんが、22年3月期の決算実績発表時に、23年3月期の業績予想を開示し、24年3月期以降も業績予想を継続して開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社の特定子会社で連結対象のバリューモア株式会社は、平成21年9月30日付にて保有全株式を譲渡したため、当第2四半期連結会計期間末をもって連結対象でなくなりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,791,307	1,906,965
売掛金	310,614	356,929
有価証券	230,257	80,817
商品	—	13,881
その他	179,545	167,302
流動資産合計	2,511,726	2,525,896
固定資産		
有形固定資産	37,903	33,931
無形固定資産		
のれん	48,440	57,815
その他	159,007	130,256
無形固定資産合計	207,447	188,072
投資その他の資産	337,054	321,100
固定資産合計	582,405	543,104
資産合計	3,094,131	3,069,000
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	188,018	372,462
未払法人税等	5,066	4,569
引当金	33,931	28,959
その他	248,054	224,109
流動負債合計	475,071	630,101
固定負債		
引当金	10,635	8,938
固定負債合計	10,635	8,938
負債合計	485,706	639,039
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,552	983,552
資本剰余金	1,372,550	1,372,550
利益剰余金	296,227	144,888
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	2,557,377	2,406,038
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,047	△43,444
評価・換算差額等合計	51,047	△43,444
少数株主持分	—	67,367
純資産合計	2,608,424	2,429,960
負債純資産合計	3,094,131	3,069,000

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収益	1,640,758	1,883,094
営業費用	1,632,679	1,719,192
営業利益	8,079	163,901
営業外収益		
受取利息	1,168	1,592
受取配当金	9,350	24
業務受託料	—	4,000
その他	874	1,592
営業外収益合計	11,392	7,210
営業外費用		
株式交付費	384	—
為替差損	15	—
営業外費用合計	400	—
経常利益	19,071	171,112
特別利益		
子会社株式売却益	—	489
特別利益合計	—	489
特別損失		
ソフトウェア除却損	3,037	98
投資有価証券評価損	1,905	174
前渡金償却額	1,698	—
投資有価証券売却損	63	—
特別損失合計	6,704	272
税金等調整前四半期純利益	12,367	171,329
法人税、住民税及び事業税	21,486	1,310
法人税等調整額	11,764	20,052
法人税等合計	33,251	21,363
少数株主損失(△)	△3,920	△1,372
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,963	151,339



## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
営業収益	844,886	927,287
営業費用	830,229	840,675
営業利益	14,657	86,612
営業外収益		
受取利息	1,051	1,180
受取配当金	9,330	—
為替差益	—	545
その他	393	897
営業外収益合計	10,775	2,623
営業外費用		
為替差損	141	—
営業外費用合計	141	—
経常利益	25,291	89,235
特別利益		
子会社株式売却益	—	489
特別利益合計	—	489
特別損失		
ソフトウェア除却損	3,037	—
投資有価証券評価損	1,905	—
前渡金償却額	1,698	—
特別損失合計	6,640	—
税金等調整前四半期純利益	18,650	89,725
法人税、住民税及び事業税	15,497	657
法人税等調整額	1,515	18,999
法人税等合計	17,013	19,657
少数株主損失(△)	△1,363	△400
四半期純利益	2,999	70,468





















